



がつ きゅうしよく
1月 給食だより



令和8年1月8日
江戸川区立一之江第二小学校
校長 木村 紀朗
栄 養 士



あけましておめでとうございます 年



とし
今年はうま年!

冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日1日を大切に過ごしていきましょう。

うまのように野菜を
たっぷり食べよう!

箸をうまく使いこなして
きれいに食べよう!

よく味わってうま味
を感じよう!

とし たま
お年玉はもちだった!?

お正月は、普段より日本文化を感じる機会が多かったのではないのでしょうか。さて、子どもたちにとって、お正月の楽しみといえばお年玉です。新年を祝って、大人から子どもへお小遣いを渡す風習です。もともとは、お正月の「歳神様（年神様）」にお供えした「もち」を、歳神様からの贈り物として分け与えたことが始まりとされ、「年玉」とは「歳神様の魂」を意味する「御年魂」から由来しています。

かがみびら
1月11日は鏡開き

鏡もちを小さく割ってお汁粉などに入れ、無病息災を願って食べる行事です。もちを小さくするのに、包丁など刃物を使うのは武士の「切腹」を連想させるため縁起が悪いとされ、木づちや手で割ります。また、「割る」ではなく「開く」という縁起の良い言葉が使われます。

1月9日(金) 鏡開き献立

カレーうどん、牛乳、わかさぎのから揚げ、
小松菜のアーモンド和え、白玉しるこ



ねん ふっかつ 2年ぶりに復活!! おみくじコロッケ!!



お正月にお家の人と初詣へ行き、その際におみくじを引いた人もいるのではないのでしょうか？そんなおみくじを給食に取り入れた献立の1つが、『おみくじコロッケ』です。昨年度は実施することができなかったため、とても多くのリクエストをいただいていた。今回はリクエストにこたえて、1月13日（火）に2年ぶりにおみくじコロッケを実施します！

コロッケの中には、ウィンナー、チーズ、うずら卵のうち、どれか1つが入っています。どの具材も当たりですが、各クラス1つだけ3種類全てが入ったお当たりのコロッケがあります。ぜひ楽しみながら食べてみてください。3種類の具にはそれぞれ意味が込めています。みなさんはどんな1年になるのでしょうか？

- ・ ウィンナー … 英語で「Winner(勝者)」にかけて、勝負に強い1年
- ・ チーズ … チーズはカルシウム豊富なので、健康に過ごせる1年
- ・ うずら卵 … 「黄身(君)」が中心とかけて、人気者になる1年



1/24~1/30は
「全国学校給食週間」です

にほん がっ こう きゅうしょく

日本の学校給食のあゆみ

おにぎり
焼き魚
漬物
(明治22年ごろ)

ミルク
トマトシチュー
(昭和22年ごろ)

コッペパン・ミルク
クジラの竜田揚げ
せん切りキャベツ
(昭和25~30年ごろ)

カレーライス
牛乳・塩もみ
ゆで卵
(昭和51年ごろ)

学校給食の始まりは、明治22（1889）年に山形県の私立忠愛小学校で、子どもたちへ食事を提供したことでした。この学校は大誓寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。そこから、子どもたちの栄養状態を改善する方法として、学校給食は国から奨励され、各地へと広がりましたが、戦争による食料不足で一度中止することになりました。

戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21（1946）年12月24日にLARA（アジア救援公認団体）から給食用物資の寄贈を受け、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

昭和29（1954）年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯（ご飯）が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していきました。

